

森松展ニュース

山本ビニター様が特別展示会場 (1F) にて
「新型フットペダル ハイブリット高周波ウェルダ―」
を展示致します。

機能向上×デザイン向上=PLASEST

PLASESTはプラスチックとBEST (より良いという意味)
を合わせた名称です。

最上級のプラスチックウェルダ―という意味を持たせて
つくられています。

★特徴★

- ・電源のみでエアー不要
- ・どこからでも簡単に踏める新型フットペダル
- ・ワンタッチで取付可能な新金型セットシステム搭載

是非ご来場いただき実機をご覧ください。お待ちしております。



『休日休暇』

森 直樹



「ワークライフバランス」という言葉を聞いたことがありません。人生を満喫するためには時間もお金も必要です。仕事をすればお金が入り、時間は減ります。生活または余暇に集中すれば時間はもちろんのこと、お金も減っていくことでしょうか。いずれにしても時間は何をしても過ぎていくのでこの際考えないとして、お金は使える限度があります。自分がお金をさらに必要とすれば必然的に仕事に集中する時間は増え、それ以外のことに費やす事のできる時間は減っていきます。また余暇の過ごし方で自分が熱中していることがあれば、仕事を早く切り上げてそちらに時間を使えるように時間の使い方が変わっていくでしょう。そのため、休日をどのように過ごすかは個々の環境によって全く異なります。

私の考える休日の使い方の一つは、これまでの自分を振り返る時間だと考えます。こう言うのと小難しいですが、落ち着いてこれまでの自分、またこれからの自分のことを考えるには普段の仕事の中ではなかなか頭が回らないと思います。目の前の仕事のことではなく、将来の仕事のヒントやテーマが生まれるきっかけになるのは普段の仕事から離れ、自分の興味のある活動の中で浮かぶものではないでしょうか。興味のある活動、それがまさに自分の仕事であれば、それほど幸運なことは無いと思います。さて、次の休日、あなたはどのように過ごしますか？

そして先月からの繰り返しになります。

「第24回元気が出る森松展」は

9月8日から9日の開催です。皆様のご来場お待ちしております！

光田 昭男(企画営業部)

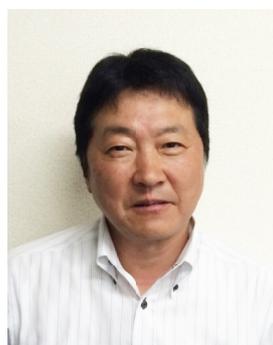


運転中にスマートフォンを触ることがありますが、違法なんですよ。私も運転中に、確認をする為に何度も触ります。どうなんでしょうか、使用すること、確認することは同じです。どちらも違法なのでしようが、運転中のドライバーを見てみると三割弱の方が画面を見て運転しているような気がします。信号待ちでは五割以上のドライバーの頭の角度が下がっている感じがします。運転が上手な女性に限定すれば、必ずメールを見ているような感じがします。スマホを操作して走行している車両を見ると、なんとなく運転の様子が違うことに気づき、大丈夫なのかと心配になります。フラフラして急に速度が遅くなるなど、とても危険なことだと思ってしまう。最近ではもっと厄介な現象が増えています。もちろん、ポケモンGOの影響です。

◆新聞より

配信開始から1ヶ月間でダウンロードされたモバイルゲームとして、ギネスで世界記録に認定された。ギネス公式サイトによると、7月6日に米国などで配信が始まってから一ヶ月間で、日本を含む全世界でのダウンロード数が約1億8000万回達したという。日本では7月22日に配信が始まった。ギネス公式サイトは、ポケモンGOはゲームを有利に進めるアイテムなどの販売により、一ヶ月間で2億8000万ドル(約23億円)の売上があったと指摘。当初一ヶ月で最も売れたモバイルゲームなど5項目で世界記録を認定した。お客様の近くの交番近くが、ポケストップらしく、運手中のスマホで検挙されており検挙されることをポケモン狩りと言われているそうです。自分が警察にゲットされてどうする! バカモンGO! 私は、ゲームが好きではないので、ダウンロードもしていませんが、どんなものなのか体験は必要なので、体験をさせてもらいました。ポケモンをゲットできると、とても面白いと感じました。小さな頃の昆虫採集みたいなものかな? 楽しんでいる方の年齢層が高いのに驚いてしまいます。頭がピカチュウ、一所懸命にスマホ見て、全員が同じ人差し指の動きをして、後姿が、ドラえもん・・・がポケモンを探している。どうか皆さん 前を見て進みましょう。危ないですよ。

黒松 康郎(東京オフィス)



2016年の8月・・・我が家のテレビは24時間電源が入っている日が多くあった。朝からリオオリンピック、昼間は高校野球、そして夜になるとどうでも良い阪神タイガースの試合、夜中またオリンピックという具合。阪神より中日はもっとどうでもよい状態になっていると思うので、それよりまだ幸せか。オリンピックではメダル候補にもあがっていないかった人たちがメダルを獲り、日本人の活躍が多く見られた。この人たちの4年間の練習量と苦勞は、とても真似ができない。シンクロのメソッドの中で、1500キロカロリーを毎日摂ってもやせていくので、食べるのに苦勞した」という言葉がすごく印象的で、そんな練習しても銅メダルかという世界でもそこまでやらないと先が見えない、本当に自分の人生にも勉強になる。自分のやっている事なんてすぐく甘く見える。苦勞するって何だろうと感じてしまう。よし必死になってダイエットしようと思ひ、水の中の運動と思ひながら、私の周りには水泳しても太る人がいるのであまりあてにならないかもしれないと思ひ直した。次に高校野球通な私は、今年東邦、横浜、履正社、と優勝候補と言われた学校がそこそこでみんな負けてしまったが、今年も楽しませてもらっている。高校野球の良さはあの必死さと負けたら終わりというプレッシャーの中の最後まで何が起こるかわからないドラマ的な感じと、終わった後の涙に感動して嵌ってしまう。私が一番印象に残っているのは、中学生の時に見た南陽工の津田投手の速球でした。なにこの伸びる球は。今でも頭に残っている。広島に入団し若くして亡くなったが、高校野球が始まる度に甲子園で投げた津田を思い出す。私の頭の中では高校野球で津田を超えたピッチャーがいない。そのころから嵌ってしまったかな。当時津田の山口県予選のピッチングを振り返ったビデオを見たが、甲子園という大舞台で更に成長したと感ずる。津田が言った言葉「弱気は最大の敵」というのが、その時のピッチングとかぶる。この前甲子園のグラウンド整備をする有名な「阪神園芸」が、高校野球が1試合終わるグラウンド整備は、プロの1試合終わった後の整備よりたいへんであるというインタビューがあった。やっぱり高校野球は無駄な動きが多いというインタビューであったが、今の阪神もつと必死に動けよ、阪神園芸が整備するのに大変なくらい必死になれ、と思ってしまう。オリンピックが終わり高校野球も終わり、また阪神を応援し、裏切られる秋になっていく。2016年暑い夏は、本当に暑い夏であり勉強させられたと思う。ありがとうございます。

「ポケモンGO」

岩間 正美（森松産業）



2016年7月6日に米国・オーストラリア・ニュージーランドで配信開始となったスマートフォン用AR(仮想現実)モバイルゲーム。開発・発売元はNiantic, Inc.(ナイアンティック)で、株式会社ポケモン、任天堂株式会社などがパートナーとして参加している。株式会社ポケモンによるゲームソフトシリーズ「ポケットモンスター」の世界観そのままに、スマートフォンカメラと画面を用い、街や公園などの現実世界を舞台としてポケットモンスターを探し捕まえ戦うなどする体験型ゲームとなっている。世界では300万ダウンロードを突破！日本では7月22日に配信が開始され、日本のダウンロード数がリリース3日で推定100万突破するという事態に。今やプレイ可能な国では、多くの人が街中でスマホを覗き込み、社会現象と化しているほど。ポケモンGOに集中しすぎて、断崖絶壁から転げ落ちる人がアメリカのカリフォルニア州に存在する。旧ユーゴスラビアのボスニア・ヘルツェゴビナでは、ポケモンGOに熱中した人が地雷原に迷い込むケースが相次いでいる。同国の国土には、1992〜1995年の紛争で埋められた地雷がまだ何万個も残っているためだ。日本でも「ながらスマホ」をする人が続出し、「ポケモンGO」が原因の交通事故が相次いでいる」という。配信前から海外での立ち入り禁止場所への侵入、歩きスマホでの事故等が報道されていましたが、やはり日本でも同じようなことが起き問題となっている。政府、自治体、神社など、立ち入り禁止のところにポケモンが表示されないように開発元のナイアンティックに申し入れを行う事態となっている。ポケモンGOが引き起こした「危険な現象」を挙げたが、「ポジティブな現象」も見受けられるようだ。例えば、精神医学の専門家がうつ病などメンタルヘルスの不調の改善に効果があると指摘したり、ポケモンGOを使ったデートサービス「ポケデート」が始まっていることなど。健康になったり、いい出会いがあったりと好ましい一面も持っているようである。またニュースで見ましたが70歳くらいの祖父と孫娘（女子高生）が一緒にポケモンGOをやっている姿。祖父は指先を使うのでポケ防止になると孫娘と一緒に楽しんでいようであった。子供や、孫とコミュニケーションをとるツールとしては良いと思うので、とにかく安全に楽しんでいこうと思う。



近藤先輩から一言



私も今年と同じようにインターンシップに参加しました。今は森松で働いている……。なんだか不思議な気持ちになりました。私もそうでしたが、この2日間で様々な体験ができ、普段の学生生活とは全く違い「仕事ってこんなことをするんだ」とわかり、よい経験になったのではと思います。3人には今回行った作業や見たモノを活かしてファッションに繋いでいてほしいです。

「就業体験学習」

8月18.19日の2日間、桜台高等学校（ファッション文化科）の生徒3名（岡田花織さん、三上寧菜さん、吉本美緒さん）が就業体験学習（インターンシップ）のため来社されました。当社の取扱商品の紹介から裁断、スリッター、ウェルダー加工など作業現場を見学しビニール製品ができるまでの工程など説明。彼女たちはたくさんの材料や初めて見る機械設備に興味津々の様子でした。また実務体験としてデスクマットの梱包や包装などの軽作業、営業アシスタントに付き納品書、送り状の発行業務なども体験しました。体験学習終了後、彼女たちの感想は「とても楽しかったです」と……。明るく素直で元気な姿がとてもさわやかな感じでした。私自身この2日間は「教える」「伝える」ことをあらためて学んだ体験でした。彼女たちは卒業後は進学されるそうですが、機会があればまた遊びに来て欲しいと思っています。また就業体験学習にご協力して頂いた皆様、色々ありがとうございました。感謝申し上げます。 安井 浩二



9月の予定

3日(土) 第1土曜日休み

7日(水) 前夜祭 ラグナスイートホテル 18時～20時

8日(木) 志水満さん誕生日

8日(木) 第24回元気が出る森松展
本社ビル5階 9時～17時

10日(土) 第2土曜日休み

山口和也さん誕生日

14日(水) 安井浩二さん誕生日

17日(土) 第3土曜日休み

間部将大さん誕生日

敬老の日

橋本枝里さん誕生日

生産会議 12時～13時

CS会議 14時10分～15時

高級機式食性のオリジナルキャラクター守り隊の『マモリーナ』誕生しました!



このたびLINEスタンプデビュー☆全40種類100円で販売しています! いますぐクリックしてね!

森松株式会社 社内報 MORLIN
No: 375 平成28年8月26日
編集者 大石耕平 小坂美香 小原龍一
伊東義弥 柳原瞬 稲葉善貴
間部将大 近藤結礼

多機能なセルロースナノファイバーの開発と応用

セルロースナノファイバーは、将来的に世界市場性の大きい新規素材として注目されています。

あいち産業科学技術総合センターは、企業と共同でセルロースナノファイバーの新規加工技術を開発しました(特許第5232976号)。さらに、セルロースナノファイバーの多機能化と応用開発を行うことで、多分野での社会実装化を目指しています。

【セルロースナノファイバーとは】

- ① 最も多い有機物(セルロース)
- ② 地球温暖化対策に対応した(光合成利用)素材
- ③ 高機能性材料(有機物のナノ素材)
 - ・高強度
 - ・高吸水性
 - ・高分散性
 - ・透明性
 - ・低熱膨張率: ガラスの1/50
 - ・低比重: 鋼鉄の1/5
 - ・化学修飾可能

環境対応かつ高機能な革新的素材として「日本再興戦略」改訂2014に記載されました。

【あいち産業科学技術総合センターの取組】



自動車部材、情報電子材料、包装材料、建築材料、増粘剤、高機能フィルター、化粧品などの開発に利用され、2030年には1兆円の市場が期待されています。

<共同研究者> 吉田機械興業株式会社



<お問い合わせ> あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室
〒448-0013 刈谷市恩田町一丁目157番地1 TEL: 0566-24-1841 E-mail: acadst@pref.aichi.lg.jp

日本の森が常識を変える!
夢の次世代素材!
注目の
セルロースナノファイバー

元気が出る森松展にてセルロースナノファイバー(植物資源からナノ材料を製造する新技術)に関する講演会が開催されます。

9月9日(金) 14:00～

「セルロースナノファイバー開発の現状と当センターの事例紹介」

講師: あいち産業科学技術総合センター 森川 豊 主任研究員

この機会に是非ご参加下さい。皆様のご来場お待ちしております。